

高阪 章教授退職記念号に寄せて

高阪章関西学院大学教授は、2011年4月関西学院大学国際学部開設2年目に教授として就任され、2017年3月末に定年退職を迎えられました。

高阪教授は関西学院中学部・高等部のご出身であり、1972年に京都大学経済学部をご卒業後、同大学院経済学研究科修士課程を修了、博士課程在学中に特殊法人アジア経済研究所に奉職されました。その後、フルブライト留学生として米国・スタンフォード大学経済学大学院にご入学、1984年には同大学院より Ph.D. の学位を授与されました。

その後、1986年に一橋大学経済研究所客員助教授、1987年に米国・ハーバード大学経済学部客員研究員を経て、1988年には京都大学東南アジア研究センター助教授としてご赴任されました。京都大学在職中、埼玉大学大学院政策科学研究科客員教授、経済企画庁経済研究所客員研究員等を歴任されたのち、1994年には大阪大学大学院国際公共政策研究科教授に就任されました。大阪大学在職中は、同大学評議員、国際公共政策研究科科长、同大学経営協議会委員等を務められており、その後2011年に関西学院大学国際学部教授に就任され、同大学評議員、同国際学研究科副研究科長などをお務めになり、現在に至っております。

高阪教授の学会活動は国内外にわたっており、日本経済学会、日本金融学会、アジア政経学会、国際開発学会、American Economic Association、East Asian Economic Associationなどに所属され、「金融経済研究」「Asian Economic Journal」の編集にも長年携わってこられました。また East Asian Economic Association では10年以上にわたって副会長を務めたのち、2013年には会長にもご就任なされております。

学術研究活動においては、10点以上ものご著書をはじめとして旺盛な研究活動を永年にわたって継続され、とりわけ1990年代後半のアジア通貨危機に関連する分野において多大の業績を重ねておられます。また、大阪大学及び関西学院大学において多数の大学院生を指導され、本大学院博士前期課程における最初の修了者をご指導なされました。

さらに社会活動におきましては、経済企画庁経済審議会、通商産業省産業構造審議会等で部会特別委員、独立行政法人評価委員会特別委員等を務められました。日本学術振興会においても、多数の部会・委員会の専門委員を歴任されました。

このように高阪教授は学内外にわたり、長年研究・教育において多大な貢献をなさってこられました。このたびのご退職にあたり、国際学部としての謝意を表すために、この記念号を発行することとなりました。記念号の趣旨に賛同してご寄稿いただいた学内外の執筆者の方々、また編集の労をお取りいただいた国際学研究編集委員の皆様には厚く御礼申し上げます。

最後に、高阪章教授のご健康と今後のご研究がいっそう発展することを念じつつ謝辞とさせていただきます。

2017年3月吉日

国際学部長 丸 楠 恭 一